

時代と社会についての認識

- 人口減少、少子高齢化、貧困や格差の拡大、気候変動リスク、経済変動リスクなど、我が国は課題群に取り囲まれ、それらが同時進行
- 地方分権一括法の施行、震災や風水害を経た互助の意識と活動の広がり、価値観の多様化など地方行政を取り巻く環境も変化
- 変化の中でも、困難な現実から目を背けず、「一人ひとりの幸せ」「地域社会の真の豊かさ」を願う
- 課題を乗り越えながら持続可能な地域社会をつくりだし、未来への道筋をつくる

小田原の歩み～可能性と課題～

- 森里川海がオールインワンな自然環境を備え、多様な文化やなりわいなど地域資源が満ちている
- 持続可能性を意識した取組の推進
- 市民参画を重視し、市民と行政が一体となったまちづくりの中で、市民の力や地域の力が根付く
- コロナ禍を経て、社会増や入込観光客数増など、新たな人の流入が生まれている
- 人口減少や少子高齢化の歯止めがかからないなど、様々な課題が存在



- 国全体での人口減少という現実を正面から受け止め、持続可能な地域社会をつくる
- 小田原は、誰もが安心して笑顔で暮らすことのできる地域社会への道筋を示すことができる
- 「地域自給圏」の実現を目指し、小田原を愛するすべての人が心をつなげる
- より豊かなかたちで小田原を次の世代に手渡すための実践に取り組む
- 取組を進める中で、「市民の暮らしが豊か」「まちの魅力が向上」
 - まちへの愛着が深まり、地域自給圏をつくる力が高まる
- 新たな資本や人材を引き寄せる求心力となる

「誰もが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと小田原」

【地域自給圏】

- まち全体で様々な課題を解決していく力を高める

★小田原が持つ「自然の力」「人の力」「まちの力」「産業の力」「文化の力」の5つの力を育て、これらを支える「行政の力」を高める

★市民が主体的に課題解決の取組に参画できる仕組みや体制を構築する

- 「いのち」を支える要素は、地域の中で整え、分かち合う

実践

市民の暮らしが豊か

まちの魅力が向上

- まちへの愛着を深める
- 新たな資本・人材を引き寄せる

いのちを大切にする小田原

- 市民一人ひとりの「いのち」が尊重され、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち

自然環境の恵みがあふれる小田原

- 将来にわたり自然環境の恵みがあふれ、暮らしや営みと調和するまち

未来を拓く「人」が育ち、地域の絆が結ばれる小田原

- 課題を乗り越え自ら未来を切り拓く「人」が育つまち
- 地域コミュニティの絆がしっかりと結ばれ、地域の個性が発揮できるまち

地域経済が好循環し、多彩な資源が花開く小田原

- 豊かな資源のもとに産業が育ち、地域経済の好循環が生まれるまち
- 多彩な文化が息づき、市民がふるさとに誇りと愛着を持てるまち

安心して暮らすことができる小田原

- 暮らしやすく快適に住み続けることができるまち
- 市民の思いや願いが実現される、確かな行政運営基盤を備えたまち